みんなの歌謡曲
第112号
無料
発行元：オフィス香音（かのん）
㊟安松
〒270-2251
松戸市金ヶ作43-118
(090)1558-4391
FAX. 047(388)3619

◆◆みんかよネット　http://www.minkayo.com/◆◆（配布店はこちらをご参照下さい）

前作「桂川」はカラオケファンの支持を得て多くの方々に歌われました。その続編というべき新曲「京都白川　おんな川」（詞・麻こよみ／曲・影山時則／編・前田俊明）が12月7日にリリースされます。前作同様に京都を舞台にした和風悲恋演歌に仕上がっています。京都祇園を流れる白川を舞台に、切ない男女の別離をしっとりと歌い上げる葵かを里さんにお話しを伺いました。

京都を舞台に悲恋演歌
葵かを里「京都白川　おんな川」

―まず、前作の「桂川」は大変好評でしたね。

葵　ありがとうございます。前作の「桂川」でこれまでの私の雰囲気を一新すべく、京都の和をイメージした男女の愛を歌わせて頂きました。おかげ様で多くの方々に歌われ、今年の「関西演歌大賞」で優勝された方にも歌って頂けるなど、私の代表曲になりました。

―そして、新曲「京都白川　おんな川」ですが。

葵　やはり前作が好評で、日舞も踊る私にピッタリな世界観で、前作と同じ作家の先生にお願いして前作のストーリーの続編というべき新曲を作って頂きました。

―第2弾ですね。

葵　「桂川」では愛し合っていたとえ一緒になれなくてもかまわないという女性の物語が、今回は京都の八坂神社でお別れをするところから物語が始まるんです。同じ女性として、今回は別れたばかりの気持ちの高まりを抑えつつも、幸せだった思い出も肌で感じるような、女性なら共感する部分は多いんじゃないでしょうか。

―ですから、前作よりも臨場感といいますか切迫感がありますね。

―葵さんからみて〝歌の主人公〟とはどうですか。

葵　私はこういう恋愛は素晴らしいと思うんですよ。やはり、男女が別れる時には顔も見たくないことって多いじゃないですか。そうしたなかで、この主人公の女性は別れ方がきれいなので憧れますね。愛し合いながら別れていく時はお互い傷つけ合うのではなく、運命を受け入れた末に別れることは潔いですね。こういう恋愛は大歓迎ですね（笑）。

―では、読者に新曲をアピールして下さい。

葵　まず前作「桂川」を聴いて頂きたいんです。そして、その主人公の気持ちを理解した上で、この新曲を聴いて頂けるとその世界観がより深くなります。その女性の気持ちがどういう風に変わっていき、別れていくのか。お互い好きなのに別れていく切なさ、そして別れたばかりの女性の心情や臨場感みたいなものが本当によく出た悲恋演歌ですね。

―こういうタイプの楽曲は珍しいですね。

葵　そうですね。悲恋の歌は別れて時間が経過した歌が多いんですが、今回のように別れたばかりの状況や心境を描いた楽曲は少ないと。やはり女性の麻先生ならではと思いますね。それとその心境と京都の情緒が漂う世界がピッタリですね。

―作曲の影山先生からのアドバイスは？

葵　アドバイスというよりも今回はじっくりとレッスンをして頂きました。私自身「桂川」で歌い方も慣れてきたのかと思ったんですが、新曲では前作以上に感情の入れ方が難しいんです。特に最初の「あなたの姿が遠ざかる」の1行だけで三時間かかりました。その状況が見えないと、物語が始まらないので苦労しました。また、先生が歌うと本当に上手いですし、一つのレベルまでいって安心するとその次のレベルを要求されるので、どこまでレベルアップしていくのかドキドキしましたね。

―そのレッスンを耐えた葵さんから一般の方が歌う際のアドバイスを。

葵　やはり先ほどから話している通り臨場感のある歌なので、つい感情を入れたくなるんですが、そうなると重たくなってしまいます。ですから、状況を説明する2行は淡々と説明して、次の2行で気持ちを入れます。そして、この歌で1番訴えたいのは「幸せでした　あなたにあえて」で、ここは女性の健気な人柄が出るように歌えばいいかと。そしてサビの部分の「京都白川～」の部分は少し上がっていくのでここもしっかりと表現してください。

―ちなみに白川には行かれましたか？

葵　何度か行っていますが、桂川とはまた風情が違っているんです。川自体は小さい疎水で、とてもきれいな川で、川柳もあり舞子さんも多くてよくドラマの撮影でも使われているんです。とてもきれいな流れなので是非一度訪れて下さいね。

―しかし同じ作家のコンビのカップリング「浜の女」はガラリと違いますね。

葵　こうした威勢のいい歌は私にとって初めてですね。ただ、東日本大震災で被災された東北の漁業もすこしずつ活性化しつつあるので、本当に微力ですが頑張って下さいと、そうした願いを込めて歌わせて頂きました。こちらもカラオケにピッタリだと思います。

―葵さんは日舞が得意なので、今回の新曲では何かやられるんですか？

葵　前作「桂川」でも踊りの教室で私が踊ってCDを販売するキャンペーンを行いましたが、思った以上に好評でした。この新曲でも振りがついていますので引き続き踊りの教室でも踊って、少しでも多くの方に広めたいですね。また、ステージでも舞いながら歌っていこうと思います。

―また、10月には初の全曲集も出ましたが。

葵　私にとって初めてのアルバムですし本当にうれしいですね。以前のレコード会社の楽曲、デビュー曲「夢みなと」から前作「桂川」までのオリジナル曲に加え、未発表4曲の全16曲を収めています。特に、私の故郷・吉良町の歌「吉良慕情」もカバーしていますので、是非聴いて頂きたいですね。

―来年は8周年ですね。

葵　ここまで来られたのは本当にありがたいですね。多くの方々に支えられての8周年なのでより一層感謝の気持ちを強くしてこれまでの一歩ずつの歩みを2歩、3歩と進みたいですね。そして次の10周年を目指したいと思います。

葵かを里 プロフィール

●出身地：愛知県吉良町●身長：150cm
●特技：日舞（芙蓉流名取）華道（池坊）茶道（表千家）
●趣味：ウォーキング、食べ歩き、温泉●好きな花：さくら
●チャームポイント：笑顔、福耳●好きな言葉：夢
●好きな色：白、ピンク●好きな食べ物：お肉、フルーツ
●苦手な食べ物：うずら卵より小さい卵、山葵
●尊敬する歌手：美空ひばりさん、都はるみさん
●大切にしたこと：ひとつひとつの出逢い・縁
●モットー：一歩一歩着実に
●目標：自分の世界を築き、表現できる歌手になること。そして歌で人のためになれたらと思います。

レギュラー番組『玉ちゃんのいきいき青春歌謡塾』

「私の元気の源は温泉なんです。この仕事は全国各地を回れますのでその土地土地の温泉にもつかれますし、入ってあの一瞬の気持ち良さがたまりませんね。いつも新たな出逢いがあり、ライフワークの一つです。今は炭酸泉に凝っています。」

寮歌！良歌！大予想！！
80代◎70代○60代△これで決まり！！
「生涯青春歌
～懐かしの寮歌エッセンス～」
（詩＆曲・星桂三／編・桜庭伸幸）
早稲田大学名誉教授　82歳でメジャーデビュー！
三野　昭一　11月2日発売
発売元：ウイングジャパン/WJCR－30083
☎03-6228-3122

誰もが持つ心の
ふるさとの歌
Nobby（ノビー）
「母の鞄」
待望のシングル化！
DAM：1656-35
UGA：2938-63
c/w「越名恋唄」もDAMへ配信中！
発売：ウイングジャパン／WJCR30057
☎ 03－6228－3122